

案件化調査

ラオス国 スモール・タウン水道事業案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社トーケミ
- 提案企業所在地：大阪府大阪市
- サイト・C/P機関：ラオス国公共事業・交通省 住宅都市計画局

ラオス国の開発課題

▶水道サービスの地域格差

小都市が点在する地域に比べ、人口が集中する大都市部の水道整備が優先されており、水道サービスへのアクセスの地域格差への対応が求められている。少都市部の人口は、都市部人口の42%となっている(2005年人口センサス)。

▶安全な水の安定的供給

都市部への人口集中により水の超過需要が発生し、水道が整備されていないあるいは井戸に水源を頼っているがその水源不足に困っている地域では、浄水処理がされていない濁度の高い河川水を生活用水に利用するため、下痢や結膜炎など健康被害に晒されており改善が求められている。

中小企業の技術・製品

▶地域の特性に応じた水道サービスの提供

都市化が急速で公的資金が不足しており、大規模インフラ対応が間に合わない小都市等では、大規模な土地や費用を要せず即時に導入できる小規模浄水設備により給水が可能。

▶高度なる過技術による安全な水の供給

高濁度の原水にも対応可能な過技術(国内シェア50%を占める浄水処理用ろ過材含む)によって、小規模でも浄水場をつくれる飲料水と同等の安全な水の提供が可能。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

【想定されるODAスキーム】「民間提案型普及・実証事業」：ラオス政府の2020年までのスモール・タウン水道整備計画にあげられている案件を、所管の県水道公社と協力して提案企業の提案する小規模分散型浄水装置/配水システムの設置・事業運営を行い、提案装置/システムのスモール・タウン水道事業への有効性をラオス政府関係者および水道利用者に広く認知させる。

【期待される効果】ラオス政府のスモール・タウン水道整備計画の推進と都市部水道に関する国家目標の達成。本邦中小企業のビジネス機会の創出・拡大

日本の中小企業のビジネス展開

ODA事業にて浄水施設システム・サプライヤー/O&Mサポーターとして現地法人と協働し、スモールタウン水道事業促進を支援。スモール・タウン水道事業の自律/自立展開期においては、代表企業が資本参加する現地法人がスモール・タウン水道事業を展開する。